

三重大学の令和4年度決算概要!!

国立大学法人は、毎年度財務諸表を作成し、財政状態や運営状況などの財務情報を公表しています。

貸借対照表(B/S)

年度末(3月31日)時点の財政状態(資産、負債及び純資産の状況)を表します。

以下は、貸借対照表を円グラフにしたものです。



損益計算書(P/L)

一事業年度(4月1日～3月31日)における運営状況(費用、収益の発生による損益状況)を表します。

以下は、損益計算書を円グラフにしたものです。



※詳細は、財務諸表をHPまたは二次元コードからご確認くださいませ。

<https://www.mie-u.ac.jp/about/disclosure/annouce/conference/finance.html>

※大学の活動状況と経営状況について理解を深めていただくための財務情報と非財務情報を兼ね合わせた統合報告書も、

HPまたは二次元コードからご確認くださいませ。 <https://www.mie-u.ac.jp/about/pr/pr-magazine/post.html>

財務諸表



統合報告書

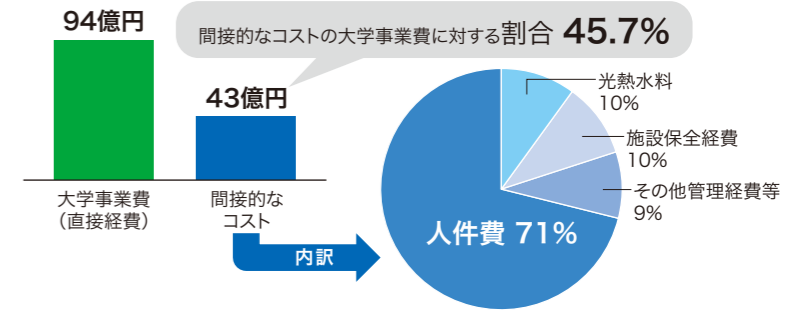


大学運営に係る間接的なコスト

大学が事業を行うにあたっては、教育・研究に直接かかるコスト(大学事業費(直接経費))の他に、管理事務スタッフの人員費や光熱水料、施設の保全などの間接的なコストがかかります。このため、共同研究等を行う際には、そのコストについて、本学では間接経費という形でお願いさせていただいております。

右のグラフは、間接的なコストの大学事業費(直接経費)に対する割合とその内訳を示しています。

R4事業年度の大学事業費と間接的なコスト



学生一人当たりの年間コスト

学生1人あたりの年間コスト		財源	
教育研究	637,527円	検定料、入学料、授業料	603,439円
教職員人件費	1,321,999円	その他自己収入	257,733円
施設整備	173,665円	寄附金	149,562円
一般管理費	104,808円	国によるコスト負担	1,256,501円
その他	29,236円		
合計 2,267,235円			

R4年度の病院・附属学校を除く、三重大学の学部等の運営に係る総コストを学生(学士、修士、博士、聴講生等)数 7,181人(R4年5月1日時点)で除した学生1人あたりの年間コストは約227万円となるんだ。財源のうち、学納金(検定料、入学料、授業料)は約60万円(約27%)で、国から約126万円(約55%)を負担していただいているんだよ。



令和4年度の財務ハイライト

地域共創プラザの新設



地域共創プラザ(令和5年5月完成)

令和4年度から令和5年度にかけて第一食堂のリニューアル工事を行い、新たに『地域共創プラザ』を新設いたしました。

地域共創プラザは地域や企業を巻き込む交流の場であり、またコロナ禍で大変な思いをした学生への交流の場となるよう願いが込められオープンしています。

この建物は、本学が経営努力認定を受けた目的積立金(3.4億円)と社会の皆様からのご寄附いただいた振興基金(2.3億円)を合わせて充てることにより実現することができました。

本学では『地域共創プラザ』において、食堂スペースに設置した大型のデジタルサイネージで、地元企業のプロモーションを行っていきます。加えて、今後地域共創に向けた多様な企画を展開するとともに、本学をパートナーとされる企業や近隣自治会をはじめ、地域の皆さまに広く活用いただけるよう取り組んでいきます。



新食堂の様子

三重大学の令和4年度決算概要についてのご意見・ご質問を、巻末の綴じ込みハガキ、又は、メール(財務企画チーム財務分析・決算担当: kesansns@ab.mie-u.ac.jp)にて、どしどしお寄せください。